

第2次伊勢原市食育推進計画【事業評価・事業計画シート】
平成26年度事業評価・平成27年度事業計画

1 担当課等実施主体		子育て支援課		食育目標 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
マタニティクッキング (母親・父親学級2日目)		妊娠期から出産後の家族の食生活に必要な栄養について学ぶ教室。食事栄養調査を行い自身の食事を振り返る。実演・試食を行い食の体験を通し、望ましい食事の摂り方を理解する。		隔月開催 (年6回)	母親父親学級の実参加者の8割の参加
H26	取組結果・実績	AからFコースまで年間6回実施。年間の妊婦実参加者は102名。2日目の参加者は89名。前年に比べ母親・父親学級への妊婦実参加者は19%増え、2日目参加者は51%の増加。実参加者と2日目参加者の割合は87%となり、目標とした8割を超えた。夫の参加についても前年7名から16名と2.3倍の増となった。			
	報告事項	平成26年度から名称を「お母さんと赤ちゃんの栄養の話し*楽しくランチ*」と改め、調理実習を廃止し、昼食の実演と試食に変更した。母親・父親学級3日間のコースを通して母親や、父親同士の交流が深められる工夫を取り入れ、声かけを行った。			
	事業評価	A	ABCの理由	目標とした2日目の妊婦参加者が妊婦実参加者の8割を越えた。母親・父親学級全体の参加者が増えたことでこれから父親や母親になる20代・30代の男女に向けて食育の推進を図ることができた。	
H27事業計画・方針		前年同様に実施する。 母親・父親学級3日間を通しての講義内容を見直す。			

2 担当課等実施主体		子育て支援課		食育目標 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
「ごっくん」離乳食教室		離乳食開始から幼児食まで、基本となる乳幼児期の食生活について学ぶ教室。栄養士講話と離乳食の実演、試食を行う。隔月で母親教室参加者とのふれあい体験を実施。		月1回	月1回実施
H26	取組結果・実績	毎月開催し、年間12回実施できた。年間参加人数207名。前年比98%。妊婦との交流参加人数97名。前年比100%。夫参加人数が前年2名から10名と5倍に増えている。			
	報告事項	今年度から母親学級に参加された人数の把握ができた。前年母親・父親学級参加者の87%にあたる75名の参加があった。			
	事業評価	A	ABCの理由	計画通り年間12回を実施することができた。父親の参加が増え、若い母親と父親に向けて食教育を行うことができた。	
H27事業計画・方針		前年同様に実施する。			

3 担当課等実施主体		子育て支援課		食育目標 1 2 4	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
乳幼児健診での食育および食事相談		各健診において食事相談と集団での食教育を行う。健診会場においてポスターを掲示し食育の普及啓発を行う。		月10回	月10回実施
H26	取組結果・実績	年間120回実施。1258件の食事相談を行った。健診会場に食中毒や災害時の備蓄についての掲示をおこない、普及啓発を行った。			
	報告事項	1歳6か月健診と3歳児健診の問診票に欠食と共食の項目を追加した。3歳児の朝食欠食を調査中。			
	事業評価	A	ABCの理由	計画通り年間120回を実施した。健診前の集団指導において食育目標に沿った内容を伝え、会場には掲示も行い食育の推進を図った。	
H27事業計画・方針		継続して前年同様実施する。3歳児の朝食欠食率を出す。			

4	担当課等実施主体	子育て支援課		食育目標 1 2 3 4
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
29年度目標				
すくすく健康相談での食育および食事相談	各公民館で乳幼児の食事相談を行う。 中央公民館にて栄養士講話・実演・試食を実施。		月3～4回	月3～4回実施
H26	取組結果・実績	年間44回実施。561件の食事相談を行った。来所1887名。 全体の30%が食事相談を受けている。 中央公民館で行う乳児の回(奇数月)へは300名来所され、64%にあたる192名が離乳食相談に参加。 乳・幼児の回(偶数月)へは431名が来所し、幼児食相談へは36%の154名が参加。		
	報告事項	すくすくレシピを追加作成し、配布した。 講義内容の見直しを行い、新しい内容に変更した。		
	事業評価	A	ABCの理由	計画通りに実施することができた。 乳児の回では実演や試食を行い、乳、幼児を持つ親に向けて食教育ができた。 幼児の回では食育目標の内容に沿った講義を行った。
H27事業計画・方針		継続して、前年同様実施する。		

5	担当課等実施主体	子育て支援課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
29年度目標				
乳幼児の食生活について普及・啓発	①子育て支援センターや各公民館主催の乳幼児教室において食生活講座を実施。 ②健診会場や各公民館において食に関するポスターやレシピ等の掲示。伊勢原市ホームページに乳幼児の食に関する情報を掲載。 ③レシピの作成、配布。		随時	年1回新しいレシピをHPにアップする。
H26	取組結果・実績	公民館乳児・幼児家庭学級での講義3回実施。 支援センターでの啓発1回と、子育てサポーター養成講座の中で講義を1回実施。 前年に比べ公民館事業が1回増えている。		
	報告事項	新しいすくすくレシピをホームページにアップした。 簡単おやつレシピを作成し、配布した。		
	事業評価	A	ABCの理由	計画通りに実施することができた。 公民館主催の家庭学級の中で食育目標の内容に沿った講義を行った。 ホームページを使った食育の普及啓発に取り組むことができた。
H27事業計画・方針		前年同様に各事業において普及・啓発を行う。		

6	担当課等実施主体	子ども育成課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
29年度目標				
保育所給食を活用した食育	食を営む力を育成し、望ましい食習慣を身につけ、食べることを楽しめるような給食を実施。また、バイキング給食の実施、地場産物の提供、紙芝居等の媒体を使った食育も実施。		各園にて実施	バイキング給食2～3回実施、栄養士による食育指導を5歳児に月1回実施
H26	取組結果・実績	離乳期は特に保育士と調理員が連絡を取りながら園児の状態に合わせた食事を提供。 また給食時間において保育士による食育を実施。5歳児には月1回栄養士が紙芝居等の媒体を使用した食育を実施。 バイキング給食を各園2～3回実施。 地場産物の提供では伊勢原産の米、梨、柿、みかん、しいたけ、しめじを使用。		
	報告事項	昨年初めて給食で提供した大山きのこカレーを今年も提供し、伊勢原産のしいたけ、しめじを使用できた。 バイキング給食では楽しく、そしてバランスよく食べられるように配慮した。		
	事業評価	A	ABCの理由	離乳期の食事は保育士、調理員が連携し園児に合わせて提供ができた。5歳児へは月に1回、紙芝居等を使用し、食育を実施できた。 バイキング給食は各園と内容を相談し実施した。前年度同様11月に大山キノコカレーを提供し、地場産物の使用を行った。
H27事業計画・方針		26年度と同様に実施予定		

7	担当課等実施主体	子ども育成課		食育目標	3 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
クッキング保育		調理する楽しさを育て、積極的に食事づくりにかかわれるようにする。		各園年 1～2回	各園年1～2回
H26	取組結果・実績	各園にてパフェパーティー、カレーパーティー、ピザパーティー等を年2回実施した。カレーパーティーは各園で栽培、収穫したじゃがいもを使用し、収穫の喜びもあった。5歳児を対象にとうもろこしの皮剥きを行い、おやつで提供した。			
	報告事項	カレーパーティーは外のクラスの子もたちも見学に来て、全員が興味を持てるようにしていた。			
	事業評価	A	ABCの理由	各園で栽培収穫した食材を使用して子どもたちが調理を行うことで、食に対する興味、関心、意欲を伸ばすことができた。	
H27事業計画・方針		26年度と同様に実施予定			

8	担当課等実施主体	子ども育成課		食育目標	3 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
園内菜園		食材を育てることを通して食材への興味・関心を促し、自然の恵み、人への感謝の気持ち、命を大切にすることを育む。		各園にて 栽培	現状維持
H26	取組結果・実績	各園にて野菜を栽培。じゃが芋はカレーパーティーにて子どもたちが調理し、給食で食べた。また栽培した食材を家庭に持ち帰り、家庭で食べたり、給食でも提供した。			
	報告事項	比々多保育園においてはJAいせはら食農教育プラン（プランター野菜づくり）を実施し、カレーパーティーではJAいせはら食農教育プランの指導者を招いて会食をした。			
	事業評価	A	ABCの理由	各園で栽培した野菜を子どもたちが調理し、カレーパーティーを実施した。野菜の成長、収穫を体験し、それを実際に食べることで命を大切にすることを育むことができた。	
H27事業計画・方針		27年度は高部屋愛育保育園でJAいせはら食農教育プランを実施するほか、各園で野菜を栽培し、もぎ取りを体験したり、給食で提供する。			

9	担当課等実施主体	子ども育成課		食育目標	1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
保護者への食育の普及・啓発		保護者への食育の普及・啓発を目的に子どもの食事の様子や食育の取り組みを伝える。給食だより、給食試食会、食育・食事相談。		月1回 配布	給食だより月1回配布
H26	取組結果・実績	給食だより月1回の配布、保育園の試食会での資料提供を実施した。			
	報告事項	試食会では保護者向けに時短レシピを配布し、帰宅後の調理が楽になるような工夫を話した。			
	事業評価	A	ABCの理由	給食レシピを試食会で配布し、家庭でも簡単に調理ができるような工夫をした。給食だよりを月に1度配布。保護者へ食育の普及・啓発をする内容を記載した。	
H27事業計画・方針		26年度と同様に実施予定			

10	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校		食育目標 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
教育活動における食育		<p>・食育指導計画により教科や教科外において食育の目標に沿った指導を行う。</p> <p>給食の準備から片付けまでの一連の指導の中で、正しい手洗い、配膳方法、食器の並べ方、はしの使い方、食事のマナーなどを習得する。教科等で取り上げられた食品や学習したことを学校給食を通して確認する。</p> <p>学校給食を通して、食品の産地や栄養的な特徴等を学習する。栄養教諭及び栄養職員、学級担任等の教諭が連携し、食育を行う。</p>		小中学校14校で実施	小中学校14校で継続して実施
H26	取組結果・実績	各小中学校について、食育を栄養教諭及び栄養職員、学級担任などが連携し、それぞれの学年学級にあった食育を行った。			
	報告事項	手洗いやよくかむこと、よい姿勢や和やかな雰囲気作りは、食事の基本である。食事のあいさつは、感謝の気持ちの表れであり、残さず食べ、協力して食事の準備や後方付けなどの正しい習慣への指導を行った。			
	事業評価	A	ABCの理由	食育指導計画により教科や教科外において食育の目標に沿った指導ができた。	
H27事業計画・方針		平成26年度に引続き実施。			

11	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校		食育目標 1 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
教育活動における食育		<p>・日本及び外国に伝わる行事食や郷土料理、地域の伝統や気候風土と深く結び付き、先人によって培われてきた多様な食文化があることを知り、伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。</p>		全小中学校で実施	小中学校14校で継続して実施
H26	取組結果・実績	行事食や郷土料理を知り、食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高めた。			
	報告事項				
	事業評価	A	ABCの理由	行事食や郷土料理を知り、食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高めることができた。	
H27事業計画・方針		平成26年度に引続き実施。			

12	担当課等実施主体	学校教育課 各小学校		食育目標 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
教育活動における食育		<p>・ランチルーム</p> <p>学級単位で年に数回、「ランチルーム」という特別教室で給食を食べ、栄養教諭及び栄養職員による食育等を重点的に行う。</p> <p>整った食事環境により、楽しく会食することや、食事のマナーを身に付ける。</p>		全小学校で実施	小学校10校で継続して実施
H26	取組結果・実績	各小学校で、ランチルームを実施し、栄養教諭や栄養職員などが、その学年や学級に応じた食育を実施している。			
	報告事項	はしの使い方、食器の並べ方、話題の選び方などマナーを考え、相手を思いやり、楽しい食事につながるよう指導した。また、学校給食にはいろいろな食品が使われていること、栄養のバランスをよくするために、好き嫌いをなく食べることが必要であることを指導した。			
	事業評価	A	ABCの理由	各小学校で、ランチルームを実施し、栄養教諭や栄養職員などが、その学年や学級に応じた食育を実施できた。	
H27事業計画・方針		平成26年度に引続き実施。			

13	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校		食育目標 1 2 3 4 5
	取組・事業名	事業内容とその目的		現状
	教育活動における食育	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食における地場産物の使用推進 「かながわ産品学校給食デー」や、「学校給食地場野菜使用推進事業」のほか、年間を通して給食食材に地場産物を積極的に使用することにより、地域の自然、食文化、産業等について理解を深める。地場産物の生産者や生産過程等を理解することにより、食べ物やそれにかかわる人への感謝の気持ちを育てる。地域の生産者等と連携した食育を行う。		「かながわ産品学校給食デー」は全小学校、「学校給食地場野菜使用推進事業」は9小学校で継続的に実施
	取組結果・実績	かながわ産品学校給食デーは、月1回、各小学校で実施した。「学校給食地場野菜使用推進事業」は、平成26年度中に1校を追加実施し、計9小学校で毎月1回、地場産物の野菜を給食で使用している。		
H26	報告事項	地場産物生産者と、年3回の会議を実施している。		
	事業評価	A	ABCの理由	地場産物を教材として使用する事により、給食残量が減るなど、食育に優れた効果が認められた。実施校を1校増やすことができた。
	H27事業計画・方針	平成27年度中に、「学校給食地場野菜使用推進事業」に1校を追加して実施予定。		

14	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校		食育目標 1 2 3 4 5
	取組・事業名	事業内容とその目的		現状
	教育活動における食育	<ul style="list-style-type: none"> 家庭地域との連携 給食だより、学校だより、保健だより、給食試食会、給食衛生委員会等により、学校における食に関する指導の目標や方法、学校給食の意義、役割等について共通理解を図り、家庭や地域と学校が連携した食育に取り組む。		全小中学校で実施
	取組結果・実績	給食だより、学校だより、保健だよりや、給食試食会、給食衛生委員会等を開催し、家庭や地域と学校が連携した食育に取り組んだ。		
H26	報告事項	家庭や地域と学校が連携することにより、各小中学校や児童生徒の実態にあわせた食育に取り組むことができた。		
	事業評価	A	ABCの理由	給食だより、学校だより、保健だよりや、給食試食会、給食衛生委員会等により、共通理解を図り、家庭や地域と学校が連携した食育に取り組むことができた。
	H27事業計画・方針	平成26年度に引き続き実施。		

15	担当課等実施主体	学校教育課 各中学校		食育目標 1 5
	取組・事業名	事業内容とその目的		現状
	思春期栄養改善事業	青年・壮年期以降の生活習慣の出発点である中学生に対し、望ましい食習慣を身に付けるよう促すため、骨密度測定と栄養教育を行う。効果的な食育を行うため、食生活に関するアンケートを行い、中学生の現状を把握する。		全中学校で実施
	取組結果・実績	市内4中学校の各校で年1回ずつ、中学2年生833名に対し、骨密度測定及び栄養教育を実施した。		
H26	報告事項	食生活に関するアンケート調査は、栄養指導のための資料として学校に報告するほか、伊勢原市食育推進計画の基礎資料として計画に役立てている。		
	事業評価	A	ABCの理由	骨密度測定を取り入れた栄養指導を継続して実施することで、思春期の栄養指導の貴重な機会となっている。各中学校で実施することができた。
	H27事業計画・方針	H26年度と同様に事業を継続予定。		

16	担当課等実施主体	指導室		食育目標 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標 → 数値化
「総合的な学習時間」での取組		地域や学校、児童生徒の実態等に応じて、心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方について理解を深めたり、農業体験等を通して自分の食生活全般を振り返り、よりよい生活習慣や食習慣を考えたりする。		各学校の年間計画に基づき実施	継続 小中学校14が年間計画を作成する
H25	取組結果・実績	各学校において食に関する指導の年間計画を作成し、その中に総合的な学習の時間を位置づけ、計画に基づいた指導を行った。			
	報告事項	各学校の実態に応じて稲作、野菜作り、食の安全、好き嫌いの克服、食べ物への感謝の気持ちをほぐくむ、食事のマナー等の指導に取り組んだ。			
	事業評価	A	ABCの理由	各学校において食に関する指導の年間計画に基づき、総合的な学習の時間において、稲作や野菜の栽培などの体験活動等に取り組むことができた。	
H26事業計画・方針		年間計画の作成と実施した内容を単元、目標、内容の観点に分けて記録する。			

17	担当課等実施主体	指導室		食育目標 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標 → 数値化
各教科等での食に関する指導		各教科（社会、理科、生活、家庭、技術・家庭、体育、保健体育等）で、それぞれの学校や児童生徒の実態に合わせて創意工夫に努め、食に関する指導の学習を展開する。		各学校の年間計画に基づき実施	継続 小中学校14が年間計画を作成する
H25	取組結果・実績	各学校において食に関する指導の年間計画を作成し、その中に各教科を位置づけ、計画に基づいた指導を行った。			
	報告事項	教科指導の中で食に関する単元を学習するとき、学校や児童生徒の実態に合わせて食に関する指導を行った。			
	事業評価	A	ABCの理由	各学校において食に関する指導の年間計画に基づき、家庭科で1食分の栄養のバランスを考えた献立作成を行ったり、保健体育で食生活と生活習慣病の関連について考えたりする学習を行った。	
H26事業計画・方針		年間計画の作成と実施した内容を単元、目標、内容の観点に分けて記録する。			

18	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 4	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
思春期食育事業		高校生への骨量測定と食教育の実施。		随時	参加者のうち学生割合を50%以上。
H26	取組結果・実績	<ul style="list-style-type: none"> 市内A高校に骨量測定、食教育および食事相談を実施。参加者148人。うち学生は71人（＝48%） 市内B高校の定時制クラスに食教育を実施。参加者70人 			
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> 骨密度の結果説明と同時に食教育および食事相談を実施した。昨年度に比べ、人数は減ったが学生の割合は増えた。 市内B高校については高校から依頼を受けて実施。食に関する取り組み（弁当づくり）についての相談にも応じている。 			
	事業評価	A	ABCの理由	29年度目標には満たないが、前年度と比較し、学生の割合が増加。また前年度は1校のみの実施であったが、別の高校でスタイルを変え、食育を実施。対象者の拡大を図れた。	
H27事業計画・方針		市内A高校については、前年度どおり実施予定。			

19	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標	1	4
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標	
39歳以下健診		39歳以下の方を対象とした健康診査時に食事相談を実施。		年2回	受診者100%へ食教育及び情報提供の実施。	
H26	取組結果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回健診を実施し、健診会場で骨量測定会を実施し142人が参加。そのうち59人に食事相談を実施した。 ・受診者全員（100%）にリーフレットを配布して、食に関する情報提供を行った。 				
	報告事項					
	事業評価	A	ABCの理由	食事相談従事者の知識の向上のための勉強をし、対象者へのより分かり易い食教育を実施できた。		
H27事業計画・方針		前年度と同様に実施。相談内容により、市の教室を紹介するなどの対応をする。				

20	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標	1	2	3	4	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標				
ヘルスマイト養成講座		食を通じた健康づくりをするボランティアの養成講座。		年1コース（15日間）	毎年8割以上の入会者				
H26	取組結果・実績	年1コース8日間実施。修了者は7人のうち6人がヘルスマイトへ入会を希望した（約9割）。							
	報告事項	入会を希望したものの、実際に入会した人は4人（約6割）。多くの方に周知し、入会者の増加につなげることが今後の課題である。							
	事業評価	B	ABCの理由	計画どおり実施したが、入会直前で入会を辞退する者があり、前年度に比べ、入会者は少なかった。					
H27事業計画・方針		前年度と同様に開催予定。周知開始の時期を早め、小学校PTAへの周知、地方誌での周知など周知方法も工夫する。							

21	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標	1	2	4
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標		
生活習慣病予防教室		生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防が目的の教室。運動、栄養士講話や試食など。		年1回	年1回2日間コースで実施。		
H26	取組結果・実績	糖尿病、血糖値に特化した内容として実施。名称は「早目が肝心！血糖値セミナー」。年1回2日間コース。					
	報告事項	広い会場で定員を増やして開催した。					
	事業評価	A	ABCの理由	計画どおり実施した。前年度は会場の都合で制限していた定員を、広い会場に変更することで、増加させて開催したため、より多くの市民への教育が実施できた。			
H27事業計画・方針		「早目が肝心！血糖値セミナー」に加え、脂質異常症予防の教室として「目指せ！サラサラしなやか血管セミナー」を開催する。					

22	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 2 3 4
取組・事業名		事業内容とその目的		現状 29年度目標
OB会（生活習慣病予防教室）		生活習慣病予防の教室終了後に継続して生活習慣を見直すためのグループ活動。		随時 調理実習支援5回及び随時相談の対応をする。
H26	取組結果・実績	各会、調理実習の前に講話を担当し、レシピ作成時の支援を行った。 ・やまぶきの会（糖尿病予防教室OB会） 年2回18人 ・さつき会（脂質異常症予防教室OB会） 年2回24人		
	報告事項	会の特徴に合わせた内容で講話を実施した。		
	事業評価	A	ABCの理由	29年度目標には達していないが、会員の高齢化で会員の負担が増加する中、会員の依頼に合わせ、調理実習等の支援を行った。糖尿病予防教室OB会会員に対しては、糖尿病の食事療法の最新の情報について再教育できた。
H27事業計画・方針		平塚保健福祉事務所秦野センター栄養士と連携し、支援を継続する。		

23	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 4
取組・事業名		事業内容とその目的		現状 29年度目標
ヘルスアップ相談（食事・運動・生活相談）		生活習慣病予防が気になる方（希望者および通知した方）への食事相談。		年15回 年15回、各回3名ずつ実施（年45名）
H26	取組結果・実績	年17回実施し、49人の参加があった。保健師、栄養士、健康運動指導士と連携して実施。		
	報告事項	希望者が多く、2回追加開催をした。		
	事業評価	A	ABCの理由	希望者が多く、日にちや時間帯を増加させて対応した。食事相談従事者の知識向上のため勉強をし、対象者へのより分かり易い相談を行った。
H27事業計画・方針		年間20回、各回3名の定員で実施する。		

24	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 4
取組・事業名		事業内容とその目的		現状 29年度目標
骨量測定相談会		骨量測定実施後、食事相談を実施。		年14回 参加者100%へ食教育及び情報提供を実施。
H26	取組結果・実績	年15回の骨量測定相談会の中で、食事相談を合計444人に実施した。参加者全員（100%）にリーフレットを配布して、食に関する情報提供を行った。		
	報告事項	問診表を見直し、市民の方が書きやすいように変更した。		
	事業評価	A	ABCの理由	食事相談従事者の知識の向上のための勉強をし、対象者へのより分かり易い食教育を実施できた。
H27事業計画・方針		年16回実施する。		

25	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
「簡単！料理レシピ集」の配布・普及		市の各課栄養士（学校教育課・保育課・介護高齢福祉課・健康管理課）で作成したレシピ集。市の窓口や地区公民館、教室などで配布。		随時
H26	取組結果・実績	窓口、地区公民館で配布。ホームページにて紹介した。		
	報告事項			
	事業評価	A	ABCの理由	内容の見直しをし、必要な部分は修正をし、配布をした。ホームページのレシピについても見直し、栄養価等記載方法を工夫した。
H27事業計画・方針		前年度と同様に実施。		

26	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
市民の食生活について普及・啓発		伊勢原市のホームページにて「食育のページ」を作成および更新。各団体やボランティア等へ望ましい食生活について普及・啓発。		随時
H26	取組結果・実績	・ホームページにて「食育のページ」を月1回更新した。食育を担うボランティア（伊勢原市ヘルスマイト）の定例会を年々、依頼のあった団体への講話や調理実習を実施した。		
	報告事項	「健康ポータルサイト」の開設にあわせ「食育のページ」の見直しを行った。		
	事業評価	A	ABCの理由	食育関連課全体の調整をし、ホームページの内容の整理をした。ホームページ内に新たに「食育掲示板」を設置し、情報提供等に活用を開始した。
H27事業計画・方針		<ul style="list-style-type: none"> 食育推進連絡調整会議で決まったスローガンなどをPRしていく。 市民食堂や職員への食育についても充実させ、同時にホームページでも情報提供していく。 市民や食育を担うボランティアの育成を充実させる。 		

27	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
いせはら食育セミナー		テーマにあわせた栄養士の講話と調理実習。		新規
H26	取組結果・実績	年8回実施し、119人が参加した。		
	報告事項	中央公民館だけでなく、地区公民館3か所でも実施し市内に広く普及した。ヘルスマイトの新任者研修も兼ねて実施し、効果も見られた。		
	事業評価	A	ABCの理由	計画どおり、年間参加者100人以上に実施し、テーマに沿った内容で食育の推進を図ることができた。また、昨年と比較し、実施会場を増やして対応したため、地元住民の参加があり、新たな市民への食育を図ることができた。
H27事業計画・方針		年9回、地区公民館でも実施予定。		

28	担当課等実施主体	保険年金課		食育目標 1 4
取組・事業名		事業内容とその目的		現状 29年度目標
特定保健指導		40歳～74歳で伊勢原市国民健康保険加入の人を対象に健診を実施後、必要な人に保健指導（食事相談など）を実施。		随時 継続
H26	取組結果・実績	特定健診の結果、保健指導の対象となった方のうち、申込みをされた方105名に保健指導を実施。		
	報告事項	保健指導では生活習慣を振り返り、一人ひとりに合った目標を一緒に考え、食事や運動のポイントのアドバイスを各々に6ヶ月間実施した。		
	事業評価	A	ABCの理由	保健指導の未利用者に対し、文書や電話による勧奨を行った結果、利用者数の増加に繋げることができた。
H27事業計画・方針		H26年度同様に実施。		

29	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 1 2 3
取組・事業名		事業内容とその目的		現状 29年度目標
おいしく食べよう栄養教室		低栄養のおそれのある高齢者の低栄養改善が目的の教室。調理実習、栄養講話、運動、口腔ケア等の内容。		月1回程度 参加者の体重維持・増加者の割合の増
H26	取組結果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・1コース5回、年10回実施（8,10月は実施せず）。平成26年度参加者は実人数28名、延べ94名であった。 ・運動・栄養・口腔の複合型二次予防事業も実施（2コース）した。 ・口腔機能向上の介護予防事業に栄養士講話を実施した（3コース）。 		
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・参加条件の低栄養の基準をBMI18.5未満からBMI20以下（低栄養傾向）にし、地域や他事業等でのBMIチェックを実施、参加を勧めたことで参加者が増えた。 ・複合型や口腔機能向上の二次予防事業にも管理栄養士が参画することで、低栄養以外の対象者にもフォローすることができた。 		
	事業評価	A	ABCの理由	前年度に比較し、様々な事業に栄養士が参加しBMIチェックや声かけをすることで本事業の参加者が増えた。参加者が増えた事で、より多くの方に介護予防の栄養改善の重要性を認識してもらえ、適正体重や食事バランスの改善につなげることができた。
H27事業計画・方針		<ul style="list-style-type: none"> ・参加者個人の体重や生活面の経過が分るよう、事業内容や記録方法等を検討していく。 ・引き続き低栄養以外の栄養面で問題がある高齢者にも関わることで、全体の問題点の把握をする。 		

30	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 1 2 3
取組・事業名		事業内容とその目的		現状 29年度目標
栄養教室同窓会		継続した低栄養予防・改善を目的に実施している、「おいしく食べよう栄養教室」修了者のOB会。調理実習を中心に実施。		年4回 年間参加者100名
H26	取組結果・実績	年4回実施し、参加者は82名であった。内容は低栄養改善のための調理実習や会食、栄養士講義等。参加者のモニタリングも実施し、悪化傾向にある方は、再度栄養教室の再受講や管理栄養士訪問などでフォローした。		
	報告事項	平成19年度から実施している事業のため、参加者の高齢化に伴い、参加者減少傾向にある。今年度は口腔機能向上の参加者にも声をかけ合同実施した。		
	事業評価	A	ABCの理由	前年度に比較し、実施回数も減らしたため、参加者は減ったが、内容に口腔ケアを加え、より低栄養予防の内容を充実させることができた。
H27事業計画・方針		実施方法や対象者について検討していく。		

31	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 1 3	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
訪問栄養相談		低栄養のおそれのある高齢者の低栄養改善を目的に、管理栄養士が訪問栄養相談を実施。		随時	年間対象者（80～100人）の8割程度
H26	取組結果・実績	訪問92回延べ92名に実施した。			
	報告事項	訪問を継続できない場合も、管理栄養士が低栄養改善について情報提供を行っている。			
	事業評価	A	ABCの理由	前年度に比較し、訪問の回数が増えた。増えたことで、教室参加につなげることができた。また継続できなくても、場合によっては地域包括支援センターへ継続支援につなげることができている。	
H27事業計画・方針		管理栄養士の立ち寄り訪問は継続。国の政策の移行期なため、基本チェックリストの実施対象者数が減るため。対象者は減る見込み。			

32	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 1 2 3	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
介護予防料理講習会		高齢者向け料理講習会。伊勢原市ヘルスマイトが実施。		各公民館 1回以上	参加者200名
H26	取組結果・実績	年12回実施し、参加者は153名であった。内容は参加者向けにヘルスマイトによる簡単なメニューの調理実習や、栄養士による講話等を行った。			
	報告事項	男女参加可能なものと男性向けのみの講座を分けたので参加者が増えた。			
	事業評価	A	ABCの理由	前年度に比較し、参加者が増えより多くの対象者に普及啓発できた。（男性向けは会場を2箇所に限定して実施。他は高齢者対象に簡単メニューの調理実習を男女問わず実施した。また、内2会場は地域包括支援センターと共催で実施した為）	
H27事業計画・方針		既に高齢者向けにヘルスマイトが自主事業としておこなっている講習会とも連携し実施していく。			

33	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 1 2 3	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
出張！簡単クッキング		依頼に応じ、老人クラブやミニサロン等の地域に出向き、調理と試食会の実施。		随時	10箇所
H26	取組結果・実績	依頼に応じ4会場で実施した。会場に炊飯器や調理器具を持ち込み、簡単メニューの調理デモンストレーションを行い、参加者に試食してもらった。			
	報告事項	ミニサロン4箇所のみでの実施であった。			
	事業評価	A	ABCの理由	依頼に応じ実施した。講義だけだと飽きてしまうことも多く、各団体と調整しながら今後も進めていく。	
H27事業計画・方針		「No.34高齢者の食生活について普及・啓発」と合わせて今後も要望に応じて実施していく。			

34	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
高齢者の食生活について普及・啓発		ミニサロンや老人クラブ、地域包括支援センター、ボランティア等へ高齢期の望ましい食生活について普及・啓発。		随時	60箇所（出張簡単クッキング回数含む）
H26	取組結果・実績	ミニサロン43回1014名、高齢者学級や地域包括支援センター依頼事業等も実施できた。			
	報告事項	公民館からの高齢者学級や健康管理課の養成講座など、高齢者の食についての庁内からの講師依頼があり、連携がとれた。			
	事業評価	A	ABCの理由	前年度に比較し、人数や回数が増えた。高齢者の増加に伴い、普及啓発できる場も増えてきており、No33「出張！簡単クッキング」と合わせて積極的に出向いていく。	
H27事業計画・方針		<ul style="list-style-type: none"> ・おたっしや情報誌3000冊作成、掲載レシピ等改定。 ・ミニサロンは高齢者に多い疾病の高血圧をテーマに実施することにした。 			

35	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 2 3	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
介護予防サポーター養成・育成講座		各地域での介護予防を目的としたサポーターの養成講座。管理栄養士の回の実施内容は、高齢者向けボランティア活動における、食に関する注意点や実施内容等。基礎コースと専門コースを隔年で交互に実施。専門コースの1つに、介護予防・栄養サポーター養成講座がある。		2年に1コースの実施	基礎コース参加者30名
H26	取組結果・実績	・基礎コース1コースと各専門コースを実施。			
	報告事項	栄養サポーター養成講座は3回延べ20名の参加であった。			
	事業評価	A	ABCの理由	専門コースの定員を確保するために、急遽基礎コースも実施した。ミニサロン代表者や食生活改善推進員など既存の活動を行っている方の参加が多かったが、活動の中で講義内容を生かしてもらうなどしてもらえた。	
H27事業計画・方針		今後、新しい総合事業等の実施も踏まえ内容や方法に検討が必要。			

36	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 1	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
配食サービス希望者への管理栄養士訪問		希望者が申請後、管理栄養士が訪問し栄養アセスメントを実施する。		随時	40名
H26	取組結果・実績	16名に管理栄養士訪問し、配食サービス導入やモニタリングを行った。			
	報告事項	対象者の状況に応じ、担当ケアマネジャーや包括支援センターと連携を取りながら栄養アセスメントや食事相談等を実施した。			
	事業評価	B	ABCの理由	前年度に比較し、申請自体が減ったため訪問・栄養アセスメント実施が減った。	
H27事業計画・方針		民間による配食サービスが普及しているため、申請数が減ってきている。今後、新しい総合事業等の実施も踏まえ検討が必要。			

37	担当課等実施主体	農業振興課	食育目標	3 5
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
農業体験事業 (教育ファーム)		米作り（谷戸田オーナー制度）、野菜づくり、など栽培から収穫までの農業体験。	実施	20組
H26	取組結果・実績	年12回開催し、20組が参加した。		
	報告事項	米作りの農業体験を通じて谷戸田の原風景を保全するとともに、自然と触れ合うことで農業のもつ多面的機能を理解させることができた。		
	事業評価	A	ABCの理由	目標組数に達し、事業目標を達成している。農業体験を通して食材に対する興味もたれている。
H27事業計画・方針		26年度と同様に実施。		

38	担当課等実施主体	農業振興課	食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
農業に関するイベント		市民朝市（毎月第1日曜日（10月休み、12月：第1・第3日曜日、1月：第2日曜日）） 野菜・果物・卵・花・落花生など「新鮮・安全・安心」な生産物を販売。	実施	1回で行う出店者数を10店舗以上
H26	取組結果・実績	年12回開催し、生産者と消費者の交流を図ることができた。		
	報告事項	全体的に例年どおりでの開催内容であった。9月から平成27年3月まで、JAいせはらで市民朝市を開催した。		
	事業評価	A	ABCの理由	市民朝市では、「新鮮・安全・安心」な生産物が販売されている。朝市で消費者と生産者の交流が行われ、食材に関心をもってもらい、参加してもらえる機会を提供している。
H27事業計画・方針		26年度と同様に開催予定。開催場所については、市役所で行う予定である。		

39	担当課等実施主体	農業振興課	食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
農業に関するイベント		畜産まつり。 動物とのふれあいや農畜産物の販売を通じ、農畜産業への理解と関心を深めるまつり。	実施	来場者 2,000人
H26	取組結果・実績	11月14、15日の2日間で第34回伊勢原市畜産まつりを開催し、約1万人の来場があった。また、初めてJAいせはら農業まつりと同時開催した。		
	報告事項	動物とのふれあいや農畜産物の販売を通じ、農畜産業への理解と関心を深めることができた。		
	事業評価	A	ABCの理由	目標数を大幅に上回る来場者があり、来場者の方々には畜産に対する興味を持っていただき、食の大切さを理解してもらった。
H27事業計画・方針		26年度と同様に開催予定。		

40	担当課等実施主体	農業振興課		食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
農業に関するイベント		みかんの木オーナー制度。 消費者がみかんを収穫できる権利を買い、収穫を楽しむことができる制度。（その年の生育状況によって、募集できない年も有）		実施	600本
H26	取組結果・実績	2つの観光農業推進組合により、みかんの木オーナー制度が実施された。			
	報告事項	原則としてリピーターのオーナーを優先とした。			
	事業評価	A	ABCの理由	みかんの裏年（成りが悪い年）で新規のオーナーの募集が出来なかったが、子供から大人までみかんを通して食材に対する興味を持っていただいたと感じており、次世代へ食の大切さをつなげることができた。	
H27事業計画・方針		平成26年度は新規募集が出来なかったため、平成27年度は新規のオーナー募集が実施できるよう観光農業推進組合と調整をする。			

41	担当課等実施主体	農業振興課		食育目標	3 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
市民農園		市民ニーズの高まりに応じ、遊休農地等を利用した「八幡谷戸ふれあいガーデン（市民農園）」が平成23年4月に高部屋地区西富岡地内に開設され、指定管理者による運営がされている。 野菜や花の栽培を通じて自然と触れ合うとともに市民相互の交流を促進し、地域の活性化及び農業に対する理解を深めることを目的としている。 「八幡谷戸ふれあいガーデン」216区画、NPO法人ファームパーク湘南が管理・運営する市民農園「ファームパーク上平間」52区画、「ファームパーク八幡台」54区画。		実施	八幡谷戸ふれあいガーデンの利用率50%以上
H26	取組結果・実績	市民農園利用状況 八幡谷戸ふれあいガーデン：70区画/216区画（利用率32.4%） ファームパーク上平間：51区画/52区画（利用率98.1%） ファームパーク八幡台：52区画/54区画（利用率96.3%）			
	報告事項	八幡谷戸ふれあいガーデンは、指定管理者が、ファームパーク上平間とファームパーク八幡台はNPO法人が適正に運営管理された。 また、国が公募した市民農園活性化策の分析調査に応募し、八幡谷戸ふれあいガーデンの利用率向上に向けて委託業者とともに分析調査等を行った。			
	事業評価	B	ABCの理由	八幡谷戸ふれあいガーデンの利用について、市内外へ募集のPRを行うが利用率の向上が図られなかった。両ファームパークについては利用率も高く、自身で食材を育てることから食育の目標は達成できていると考えているが、八幡谷戸の利用率が低いのでBとする。	
H27事業計画・方針		指定管理の最終年度であり、分析調査を踏まえ指定管理者とともに利用率の向上に向けて協議検討を要す。			

42	担当課等実施主体	農業振興課		食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
環境保全型農業の推進		低農薬で化学合成肥料をなるべく使用しない環境にやさしい農業を推進し、安全かつ安心な農畜産物を消費者に提供するとともに都市型農業の振興を図る。		実施	27年度で事業完了
H26	取組結果・実績	環境にやさしい農業に取り組みが行われた。			
	報告事項	エコファーマーや有機農業者による水稻栽培を中心に栽培が行われた。			
	事業評価	A	ABCの理由	消費者のみなさんに農業者が取り組む環境保全型農業に関して興味を持っていただけたなら、食育の観点から考えると目標を達成していると言える。	
H27事業計画・方針		27年度から事業の対象者等が変更されたため、実行できるか未定である。			

43	担当課等実施主体	社会教育課		食育目標	3
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
公民館における料理教室		「幼児家庭教育学級」「高齢者学級」、夏休みにおける親子を対象とした講座など。幅広い年代に応じた食事の作り方・与え方や、食生活のあり方等を学ぶ。		各公民館 年1回以上	各公民館年1回以上
H26	取組結果・実績	調理施設のない天山公民館を除くすべての公民館において、料理教室等を1回以上開催し、食の大切さを学んだ。 平成26年度実績：21講座（21回） 延べ参加者数 315名			
	報告事項	幼児家庭教育学級や高齢者学級においては、対象者の年代に合った食事や食生活のあり方等について学び、自らの食生活を見直す機会となるように努めた。 また、公民館によっては料理実習室がなく、調理施設・設備に制約がある中、講座の実施や内容の充実に努めた。			
	事業評価	A	ABCの理由	市内各公民館（天山公民館を除く）において、様々な年代層に対する料理教室を実施し、食生活や食文化など食の大切さを学ぶことができた。	
H27事業計画・方針		平成26年度と同様に実施予定。 食に対する関心は年々高まりを見せていることから、講座・教室の内容も時代に即した内容を検討するとともに、事業内容について広く住民へ周知する。			

44	担当課等実施主体	人権・男女共同参画推進室 社会教育課		食育目標	1 2 3
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
父子料理教室		男性を対象にした日常生活支援及び子育てへの関わりの支援として、父子料理教室を社会教育課の夏休み事業の位置づけで実施する。		年1回	年1回
H26	取組結果・実績	[社会教育課] 人権・男女共同参画推進担当との共催により父子を対象とした料理教室を実施し、日ごろ家事・育児参加の少ない男性が家事・育児へのかかわりを持てるように支援した。 H26年度実績 1講座（1回） 24人（親子9組）参加 [人権・男女共同参画推進室] 家庭内での男女共同参画意識の向上と実践を図る講座として実施した。 日時：平成26年8月24日（日） 参加者数：9組24名			
	報告事項	[社会教育課] 人権・男女共同参画推進担当との連携により、効率的な講座の運営に努めた。 夏休み事業として実施し、多くの参加を得ることができた。 また、父と子の交流を図る場としても有効であった。 [人権・男女共同参画推進室] 社会教育課と共催で実施することで、効率的に事業実施することができた。 また、夏休みに実施することで、父と子のコミュニケーションを深める場としても有効であった。			
	事業評価	A	ABCの理由	[社会教育課] 計画どおり実施し、男性への家事・育児参加を推進するとともに、父と子の交流を図ることができた。 [人権・男女共同参画推進室] 計画どおり、年1回開催し、男性の子育てや家事への参加に対する意識を高めることができた。	
H27事業計画・方針		[社会教育課] 平成26年度と同様に実施予定。 人権・男女共同参画推進担当と連携し、参加者の増員に努める。 [人権・男女共同参画推進室] 平成27年度も社会教育課と共催し、事業を開催する			

45	担当課等実施主体	環境対策課 市民協働課 学校教育課 子ども育成課		食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
食品の放射性物質検査		子どもの食の安全を確認し、食品の放射能汚染に対する市民の不安を払拭する目的で、給食食材や市民が市内で購入した食品の放射性物質検査を実施する。		学校・保育所給食、市民持込み食品を各週1回実施	1日4検体を週1回実施していく
H26	取組結果・実績	<p>[環境対策課] 市内の公立小学校及び公立保育所の給食で使用する食品の放射性物質濃度スクリーニング検査を実施し、子どもの食の安全を最優先に確認するとともに、市民から持ち込まれる食品の検査を実施することにより、市民の不安を払拭させることを目的に実施。 (小学校及び公立保育所の給食食材 168検体、市民から持ち込まれた食品 0検体)</p> <p>[市民協働課] 市民からの持ち込み件数 0件</p> <p>[学校教育課] 給食実施期間中、週1回2品目の検査を実施、野菜等全91品目を検査した。</p> <p>[子ども育成課] 給食で使用される食材を毎週2品目検査した。</p>			
	報告事項	<p>[環境対策課] 平成24年9月の検査開始からこれまでに測定した食材588検体(平成27年3月末現在)はすべて放射性セシウムの値が測定限界値未満であることや産地や旬が1巡できたことから一定の安全性が確認できた。 また、市民持込食材が平成26年度は0件であったことから、庁内関係所管課による今後の検査の必要性を検討した。小学校、保育園それぞれ1週につき2検体を、平成27年度4月からは小学校、保育園それぞれ1週おきに2検体に変更することとした。</p> <p>[学校教育課] いずれの食材についても、測定限界値未満であることが確認された。</p> <p>[子ども育成課] 基準値を超えるものはなかった。</p>			
	事業評価	A	ABCの理由	<p>[環境対策課] 当初、平成25年8月までの1年間で食品衛生法における「食品、添加物等の規格基準」について、市場に出回る食品の遵守が見極められたら検査を終了する予定であったが、給食現場から「検査環境の維持を」との要望があり、検体数を減らし継続させた。このことにより、子供の食の安全確認はもとより、保護者並びに給食の提供に携わる者の不安を払拭させた。</p> <p>[市民協働課] 市民からの持ち込み件数が0件であったため、評価出来ません。</p> <p>[学校教育課] 検査を実施し、不安を払拭することができた。</p> <p>[子ども育成課] 検査の結果基準値を超えるものは検出されなかった。安全な給食を提供できた。</p>	
H27事業計画・方針		<p>[環境対策課] 検査を引き続き実施し、給食食材等の安全性を確認していく。</p> <p>[市民協働課] 食品の放射能汚染に対する市民の不安を払拭するため、引き続き食品の受け入れを実施していく。</p> <p>[学校教育課] H27年度から食材検査を隔週とする。</p> <p>[子ども育成課] 基準値を超えたものがなかったことから、27年度は隔週で2品目検査を実施する。</p>			

46	担当課等実施主体	JAいせはら		食育目標	345
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
農業に関するイベント		園芸まつり(園芸シーズン到来を告げるイベント)、農業まつり(実りの秋、収穫の秋を楽しむイベント)、GCふれあいまつり(JA各支所のGC組合員が地域の人々とふれあうイベント)等。		年1回ずつ開催	現状維持
H26	取組結果・実績	4月26・27日に園芸まつりを開催。 11月15・16日に農業まつりを開催。 10月から11月にかけてGCふれあいまつりを各支所にて開催。			
	報告事項	園芸まつりにおいては、野菜苗の無料配布を取り入れた。 農業まつりにおいては、タウン紙を活用してPRを行い、タウン紙に直売所利用券の応募券を載せて効果測定をはかった。			
	事業評価	A	ABCの理由	計画とおり実施した。	
H27事業計画・方針		26度と同様に開催予定。 園芸まつり、農業まつりの内容については、それぞれの実行委員会にて検討、決定。 GCふれあいまつりの内容については、各支所のGC組合会議にて検討、決定。			

47	担当課等実施主体	JAいせはら		食育目標	3 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
JAいせはら ふれあい 農業塾（教育ファーム）		農作業の技術習得、農業理解につなげることを目的に市内在住在勤の方を募集し、1年間の講義や実習の講座。		月1回	現状維持
H26	取組結果・実績	26年度は20人が受講し18人が修了した。3月から翌年1月まで毎月1回開催。その他必要に応じて圃場の手入れなど行った。			
	報告事項	新規受講者で実施した。			
	事業評価	A	ABCの理由	計画とおり実施した。	
H27事業計画・方針		26年度と同様に開催予定。			

48	担当課等実施主体	JAいせはら		食育目標	3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
JAいせはら女性部による料理講習会		子育て中の母親や親子を対象とした料理教室。講師は女性部員。		随時	現状維持
H26	取組結果・実績	7月30日に開催。10組、32人が参加しました。			
	報告事項	26年度で3回目の実施で、料理で使った食材に対して親子で楽しめる食農教育をクイズ形式で行った。			
	事業評価	A	ABCの理由	計画とおり実施した。	
H27事業計画・方針		26年度と同様に開催予定。 JAグループが食農教育の雑誌として推奨している「ちゃぐりん」を活用した料理と食農教育を実施。			

49	担当課等実施主体	伊勢原市ヘルスマイト		食育目標	1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
伊勢原市ヘルスマイトによる料理講習会		市内6地区公民館を拠点に全てのライフステージを対象に料理講習会を実施。ジュニアクッキング、男の料理教室、生活習慣病予防料理教室、介護予防料理教室、そばづくり、おもてなし料理など。		随時 生活習慣病予防料理教室は各地区5回ずつ	市委託事業12回・市交付金事業33回・その他委託事業や自主事業の継続
H26	取組結果・実績	市委託事業12回、市交付金事業33回、協力事業20回、自主活動事業28回、（財）日本食生活協会委託事業5回、神奈川県委託事業1回			
	報告事項	料理講習会をより良いものにする為、定例会や学習会を実施し、会員のスキルアップを図った。			
	事業評価	A	ABCの理由	計画どおり実施した。	
H27事業計画・方針		実施会場を増やし開催する。 料理講習会参加者へ、ヘルスマイト養成講座受講にお誘いし、会員の増加に努める。			

50	担当課等実施主体	神奈川県環境農政局		食育目標	345
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
ふるさとの生活技術指導士		農家・農村地域に受け継がれてきた生活技術を伝承している人を「ふるさとの生活技術指導士」として認定。都市農業の理解や振興を旨とし、郷土に伝わる生活文化の継承活動を推進。		認定者数 神奈川県 280人 伊勢原市 内 8人	事業推進
H26	取組結果・実績	311名（伊勢原市内11名）の方が認定。			
	報告事項				
	事業評価	A	ABCの理由	計画どおり実施した。	
H27事業計画・方針		H26年度同様に実施。			

51	担当課等実施主体	平塚保健福祉事務所秦野センター 健康管理課 等		食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
食の安全安心に関する情報提供		神奈川県、秦野保健福祉事務所及び市のホームページ等により食の安全安心に関する情報提供の充実。食の安全安心に関する情報誌、資料等の積極的な提供。		随時	随時 (数値化困難)
H26	取組結果・実績	<p>[平塚保健福祉事務所秦野センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県ホームページに「かながわの食の安全・安心」のページを掲載（秦野センターからはリンク） ・かながわの食品衛生（パンフレット） 200部配布 ・食中毒予防街頭キャンペーンにて（H26.8.4 伊勢原駅南口周辺）パンフレット 1,000部配布 ・食中毒警報発令時 食中毒予防啓発チラシ 250部配布 ・大学・高校の学園祭における食品衛生講習会の開催 4回 134名 <p>[健康管理課]</p> <p>各種健康づくり教室等で、講話やリーフレット等で伝えた。</p>			
	報告事項	[平塚保健福祉事務所秦野センター] 学園祭における食品衛生講習会は、向上高校、伊志田高校、伊勢原高校、産業能率大学で実施			
	事業評価	A	ABCの理由	<p>[平塚保健福祉事務所秦野センター]</p> <p>全て計画通りに進捗した。</p> <p>[健康管理課]</p> <p>各種健康づくり教室等で伝えた。特に調理実習を伴う教室では、多くの参加者がいるため、参加者が気持ちよく実習できるよう、衛生面についても伝え、意識の向上を図れた。</p>	
H27事業計画・方針		・26年度と同様に実施予定			

52	担当課等実施主体	平塚保健福祉事務所秦野センター 健康管理課 等		食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
栄養表示等適正化推進事業		健康増進法に基づき、栄養表示基準制度、特別用途食品、食品の健康保持増進効果等に関する虚偽・誇大表示等について、普及啓発、活用促進、適正化指導を行う。 ・栄養表示状況調査 ・食品製造・販売等関連業者に対する相談・指導及び消費者相談		年1回 随時	栄養表示の義務化に向け、現在、消費者庁では環境整備について検討中
H26	取組結果・実績	<p>[平塚保健福祉事務所秦野センター]</p> <p>① 栄養表示状況調査 1回 ② 食品製造・販売等関連業者に対する事前相談(1件 延べ2回) 適正化指導(4件 延べ12回) ③ 住民(消費者)・給食施設に対する普及・啓発講習会(23回 416名) 事業者に対する講習会(1回 71名)</p> <p>[健康管理課] 各種健康づくり教室等で、講話やリーフレット等で伝えた。</p>			
	報告事項	<p>[平塚保健福祉事務所秦野センター]</p> <p>①② 276品の食品を調査し、管内業者による食品1品が不適正表示であったため、当該業者に対し、表示の適正化指導を行った。 ③ 住民が栄養成分表示を健康づくりや食生活管理に役立てられるように、表示の正しい見方とその活用法等の普及・啓発を実施した。</p>			
	事業評価	A	ABCの理由	<p>[平塚保健福祉事務所秦野センター] 全て計画通りに進化した。 [健康管理課] 各種健康づくり教室等で伝えた。国の動向に注目し、適宜対応した。</p>	
H27事業計画・方針		<p>[平塚保健福祉事務所秦野センター] 平成27年4月1日、食品表示法が施行し、食品表示基準制度により、加工食品への栄養成分表示が義務化され、ナトリウムを食塩相当量で表示することになった。 それに伴う事業者からの相談に対応するとともに、引き続き、住民や事業者に対して栄養成分表示について普及啓発、活用を推進する。</p>			

53	担当課等実施主体	伊勢原協同病院		食育目標	1 2 3 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
地場産フレッシュ野菜を使ったお料理教室		季節の地場野菜を使用した料理教室。 食事と生活習慣病、簡単ストレッチを管理栄養士が指導。		年3回	年3回
H26	取組結果・実績	年3回実施、計81名が参加。「塩レモンレシピ」、「持ち寄りパーティーレシピ」、「薬膳料理」、をテーマに調理実習と講義を行った。参加者のニーズに答えながら、バラエティに富んだレシピを紹介した。			
	報告事項				
	事業評価	A	ABCの理由	実施回数、参加者数、内容、予算において目標を達成。	
H27事業計画・方針		年4回実施予定。			

54	担当課等実施主体	伊勢原協同病院		食育目標	1 2 3 4
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
メンズビギナー クッキングスクール		初心者向け男の料理教室。基本的な料理の仕方、食事と病気について管理栄養士が説明。		年3回	年3回
H26	取組結果・実績	年3回実施、計45名が参加。「高血圧の食事療法」、「糖質制限について」、「内臓脂肪を減らす」をテーマに調理実習と講義を行った。			
	報告事項				
	事業評価	A	ABCの理由	実施回数、参加者数、内容、予算において目標を達成。	
H27事業計画・方針		年3回実施予定。			